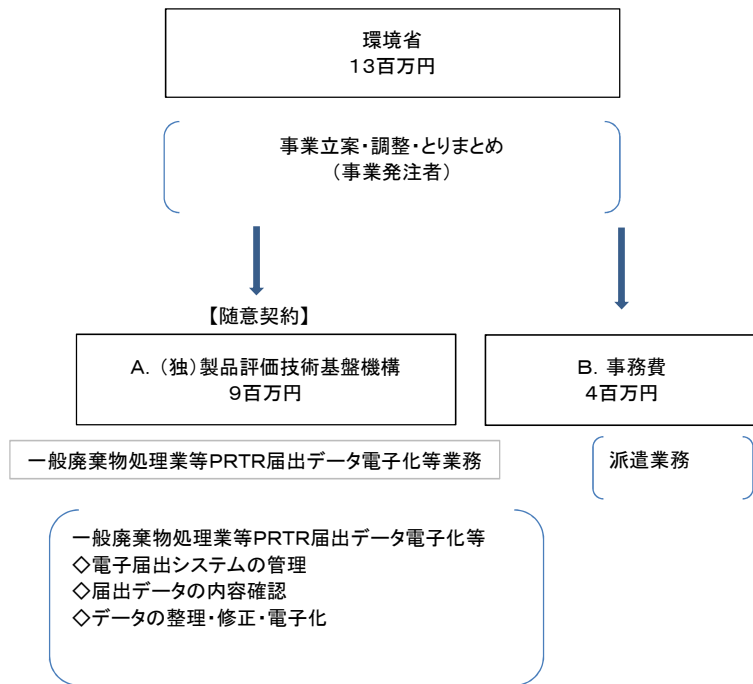


平成25年行政事業レビューシート (環境省)

事業名	廃棄物処理等に係る情報提供経費		担当部局庁	大臣官房廃棄物・リサイクル対策部	作成責任者		
事業開始・終了(予定)年度	平成11年度～		担当課室	廃棄物対策課	廃棄物対策課長 山本昌宏		
会計区分	一般会計		政策・施策名	4.廃棄物リサイクル対策の推進 4-3 一般廃棄物対策(排出抑制・リサイクル・適正処理等)			
根拠法令 (具体的な条項も記載)	特定化学物質の環境への排出量の把握等及び管理の改善の促進に関する法律第11条第1項第1号		関係する計画、通知等	-			
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	「廃棄物処理業関係PRTR届出支援システム」における届出内容の正確性向上及びとりまとめ結果の精度向上 「廃棄物処理技術等情報提供システム」を活用した循環型社会構築の促進・普及・啓発 「施設整備費用に係る情報提供データベース」、「発注者支援のための専門家人材バンク」の提供を受けた地方公共団体による、適正で透明な入札・契約の実施						
事業概要 (5行程度以内。別添可)	(1) 廃棄物処理施設についても事業者として化学物質の把握が義務づけられており、これにより、環境大臣あてに提出されたデータに関して、届出支援システムにより提出されてくるデータの確認及び修正等の取りまとめ作業を行う。 (2) 廃棄物処理技術等情報提供システムにおける、技術情報等提供システムのデータ収集・解析及び更新、国内外の廃棄物処理情報システムのデータベース更新を行う。 (3) 廃棄物処理施設入札・契約適正化システム管理・運営費 ① 施設整備費等情報提供データベース管理・運営 ② バイオガス化施設及びし尿処理施設の各種データ収集及びその解析 ③ 専門家人材バンクへの効果的な支援						
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託・請負 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> 交付 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他						
予算額・執行額 (単位:百万円)	予算 の 状 況	当初予算	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度要求
		補正予算	24	19	11	8	11
		繰越し等	0	0	0	0	
		計	0	0	0	0	
	執行額	24	19	11	8	11	
	執行率 (%)	27	14	13			
		113%	74%	118%			
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	成果指標		単位	22年度	23年度	24年度	目標値 (年度)
	PRTRは特定の化学物質の一定量以上の排出量及び移動量を把握することを目標としており、設定することは困難			成果実績			
			達成度	%			
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標		単位	22年度	23年度	24年度	25年度活動見込
	PRTR法に基づき届出のあった一般廃棄物処理事業に係る届出数			活動実績 (当初見込み)	34,471	34,012	36,418
				( )	( )	( )	( )
単位当たりコスト	248(円/第一種指定化学物質届出数)		算出根拠	24年度契約金額÷第一種指定化学物質届出数(別紙枚数) (ただし、届出は、後年度修正されるため、増減の可能性あり)			
平成25・26年度 予算内訳	費目	25年度当初予算	26年度要求	主な増減理由			
	環境保全調査費	8	11				
	計	8	11				

事業所管部局による点検						
	項目		評価	評価に関する説明		
国費投入の必要性	広く国民のニーズがあるか。国費を投入しなければ事業目的が達成できないのか。		○	廃棄物処理施設についても事業者として化学物質の把握が義務づけられており、これにより、環境大臣あてに提出されたデータに関して、届出支援システムにより提出されてくるデータの確認及び修正等の取りまとめ作業を行うもの。		
	地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。		○			
	明確な政策目的(成果目標)の達成手段として位置付けられ、優先度の高い事業となっているか。		○			
事業の効率性	競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。		○	継続性、確実なデータのとりまとめを行う観点から支出先を選定している。 また、随時に業務の進捗状況を把握し、必要に応じて指示を行った。		
	受益者との負担関係は妥当であるか。		○			
	単位当たりコストの水準は妥当か。		○			
	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。		○			
	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。		○			
	不用率が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)		—			
事業の有効性	事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。		—	事業概要(1)～(3)について、見込みどおりの成果を取得している。		
	活動実績は見込みに見合ったものであるか。		○			
	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。		○			
重複排除	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。(役割分担の具体的な内容を各事業の右に記載)		—			
	事業番号	類似事業名	所管府省・部局名			
点検結果	・随時に業務の進捗状況を把握し、必要に応じて指示を行った。					
外部有識者の所見						
点検対象外						
行政事業レビュー推進チームの所見						
現状通り	引き続き効率的な事業実施に努めること。					
所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況						
現状通り	引き続き効率的な事業実施に努める。					
備考						
関連する過去のレビューシートの事業番号						
	平成22年	117	平成23年	110	平成24年	110

※平成24年度実績を記入。執行実績がない新規事業、新規要求事業については現時点で予定やイメージを記入。



資金の流れ  
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)  
(単位:百万円)

**費目・使途**  
 (「資金の流れ」に  
 おいてブロックご  
 とに最大の金額  
 が支出されている  
 者について記載  
 する。費目と使途  
 の双方で実情が  
 分かるように記  
 載)

A.(独)製品評価技術基盤機構			E.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
人件費	データの取りまとめ	7			
外注費	データの取りまとめ	2			
計		9	計		0
B.(株)シグマスタッフ			F.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
人件費	職員派遣費	4			
計		4	計		0
C.			G.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0
D.			H.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0

支出先上位10者リスト

A.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	(独)製品評価技術基盤機構	一般廃棄物処理業務等PRTR届出データ電子化等業務	9	随意契約	—

B.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	(株)シグマスタッフ	派遣業務	4	1	—